

朝来市夜久野高原（山東町野間、金浦、田野口）（ねぎ）
地域就農・定着応援プラン

作成年月日 令和3年9月30日

チーム名 朝来市地域就農・定着応援チーム

地域の概要

1 位置

朝来市夜久野高原は、朝来市の東端、京都府福知山市にまたがり広がっている高原です。近くには、山陰本線と国道9号線が通っており、また、朝来市の市街地から車で30分もかからない距離にあり、交通は便利です。

また、朝来市は兵庫県のほぼ中央部に位置し、京阪神からJR山陰本線や高速道路等を利用しておよそ1時間半から2時間、姫路からJR播但線や播但連絡道路等を利用しておよそ1時間で直結する距離にあり、但馬・山陰地方と京阪神大都市圏を結ぶ交通の要衝の地にあります。

夜久野高原を含む山東地域は豊かな農村風景が広がる地域であり、近年、新規就農者（8名）が増えつつあります。



山東地域街並み

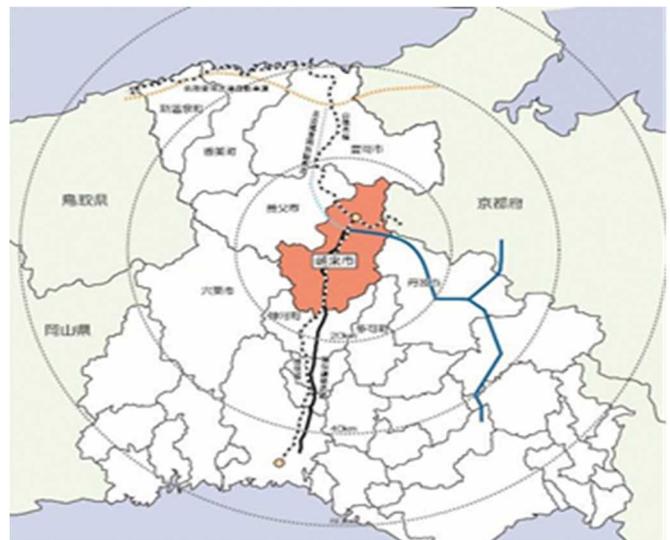


山東地域の農村風景

2 気候

夜久野高原は標高が200mぐらいで、朝来市街地よりやや冷涼な気象です。

朝来市街地は日本海側気候と内陸性気候の要素を併せ持っています。年平均気温は14.0℃で、一年を通じて昼夜の温度が大きいです。年降水量は1,831mm、年間平均風速は1.7m/sで、複雑な山間部の地形により、時折非常に強い突風が吹きます。日照時間は、兵庫県南部と比較してやや短く、冬季は降雪があり、1月から2月にかけて積雪量が増加します。盆地という地形が影響し、晩秋など昼夜の寒暖差が



大きくなる時期の早朝は濃霧が発生しやすい環境となっています。



夜久野高原圃場



夜久野高原風景

4 朝来市夜久野高原で栽培している「ねぎ」はこのようなものです

○白ねぎ・青ねぎ

朝来市は岩津ねぎに特化した産地の認識が固定化されていますが、当地は岩津ねぎの出荷までのアイテムとして、岩津ねぎ栽培技術等を活用した白ねぎ・青ねぎの周年生産が広がっています。

農業法人2社や新規就農者2名が白ねぎ・青ねぎの周年生産に取り組んでおり、市内では主産地になっています。

ちなみに、現在、白ねぎの生産面積は約5haですが、市全体では令和5年には15haを目指しています。

○岩津ねぎ

生野銀山が栄えた江戸時代後期ごろに、鉱山労働者のための冬季野菜として岩津地区で栽培させたのが起こりとされています。昭和初期に、兵庫県農業試験場但馬分場で、「改良岩津ねぎ」が育成され、この品種が作り続けられています。

現在、生産組合員約250名、生産面積は約30haとなり、朝来市を代表する農作物となっており、岩津ねぎの商標権を取得しています。

一方、生産者の高齢化が進んでいますので、新規就農者の活躍に期待しています。

○ 経営の目安

・ 岩津ねぎ（100a 作付した場合）

売上 600 万円 経費 253 万円 所得 347 万円

・ 白ねぎ（100a 作付した場合）

売上 1,000 万円 経費 352 万円 所得 648 万円

・ 青ねぎ（100a 作付した場合）

売上 1,000 万円 経費 275 万円 所得 725 万円

・ 岩津ねぎ 40a + 白ねぎ・青ねぎ 20a

売上 640 万円 経費 227 万円 所得 413 万円

水稲のような多額の初期投資が不要であり、高収益が安定して見込め、取り組みや

すい農産物です。



○就農支援、生活支援は朝来市の制度を活用できます

就農者への支援

■求める新規就農（研修希望）者

- 農業が大好きな方
- 将来農業を生業とする方
- 岩津ねぎ（朝来市特産）等ねぎの生産を頑張ってくれる方
- 朝来市認定農業者等（30者の親方、うち夜久野高原3者）の元で最大3年間の研修を熱心に受けられる方
- 朝来市に移住し地域活動を積極的に取り組める方

■朝来市独自の就農支援制度があります。

○要件

- ・研修開始時の年齢が61歳以下
- ・農業生産基盤を相続等により取得できないこと
- ・研修終了後5年間は朝来市において就農すること
- ・市税等市の徴収金に滞納がないこと
- ・生活保護、失業保険等の給付を受けていないこと
- ・暴力団排除条例第2条に規定する関係者でないこと

○補助金額

45歳以下 月額150,000円 46歳以上 月額100,000円

○補助期間 最大3年間

○研修時間

年間1,200h以上1,800h以内



■親方農家の下で農業研修ができます。夜久野高原には「ねぎ」の親方農家があり、ここで研修を受けた方が独立就農しています。

■機械導入の補助制度があります。

【補助対象者】

- ・市内の認定農業者及び認定新規就農者

【要件】

- ・市内に住所を有すること。
- ・農業機械等の導入によって、1割以上耕作面積を拡大すること。この場合において、拡大する面積の下限面積は、耕作作物の区分に応じ、次に掲げるとおりとする。
 - ア 岩津ねぎ 30アール
 - イ 岩津ねぎ以外の作物 1ヘクタール
- ・農業機械等の購入に当たり、国、地方公共団体等による補助を受けていないこと。

生活・子育て支援

■住まいの支援

- 移住の前に1年間限定で体験住宅制度があります。

市内4箇所の体験住宅があります。

- あさご暮らし住宅取得等応援事業

対象者

転入者で40歳未満の者または義務教育終了前の子を有する者

補助内容

住宅の新築・購入費用の一部補助

補助金額

最大90万円（基本補助40万円＋転入者加算20万円＋同居等加算20万円
＋市内業者による新築加算10万円）

- 空き家活用促進事業

対象者

建築後10年以上の空き家を取得した転入者または新婚世帯

補助内容

空き家の内部改修費用の一部（1/2）補助

補助金額

最大70万円（基本補助60万円＋市内業者加算10万円）

- 朝来市定住促進住宅

標準家賃45,000円/月（最大入居可能期間10年）

（減額措置）移住者5,000円

子育て世帯（15歳未満の子を養育している世帯）2,000円

8歳未満の子を養育している世帯さらに1,000円

■医療サービスも充実

○子育て世帯の経済的負担を軽減するため、医療費を0歳から中学3年生までは原則無料です。

○高校生の入院に関する費用は原則無料です。

○公立朝来医療センターを核として、市内には民間の診療所 24 箇所があります。また、休日診療として南但休日診療所があります。歯科医院は 15 箇所あります。

■子育て支援も充実

○保育料

3歳未満児 最高額 23,000 円／月

3歳以上児 最高額 15,000 円／月

■子育てと仕事の両立

○認定こども園及び保育園

市内 11 箇所のこども園、2 箇所の保育園があり、待機児童はゼロで、安心して仕事をできる環境が整っています。その他、学童クラブ 11 箇所、小学校 11 箇所、中学校 4 箇所、高校 2 箇所があります。

○問い合わせ先（総合窓口）

朝来市産業振興部 農林振興課 電話：079-672-2774（直通）

メール：nourin@city.asago.lg.jp